



森の楽校だより

VOL. 8

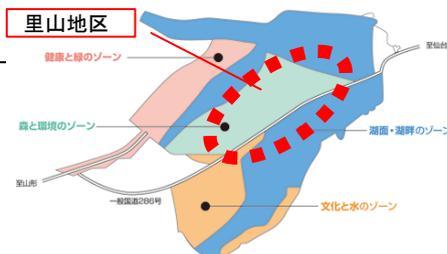


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成26年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成24年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にビューポイントや園路づくり、施設づくりなど活動の場を広げていきます。



7月21日（土）曇り時々小雨 小屋づくり、水場の調査

手摺、階段の仕上げと小屋づくりを行いました。

7月も後半に入り、梅雨明け待ち遠しい時期となりましたが、今回も小雨まじりの天気となりました。

朝まで雨が降り、ぬれた状態での高所作業は危険を伴うため、今回はセカンドデッキの作業は行わず、手摺、階段の仕上げ作業を行いました。

また、当初つくった道具小屋は、作業道具や資材でいっぱいになってきたので、多目的に使える小屋をもう1棟つくることになりました。



水場の調査

ツリーハウスから30mほど斜面を下った谷筋に周囲をシダ類で覆われ小さな沢があります。この沢水を作業場所で利用できないかと沢の様子を確認しました。

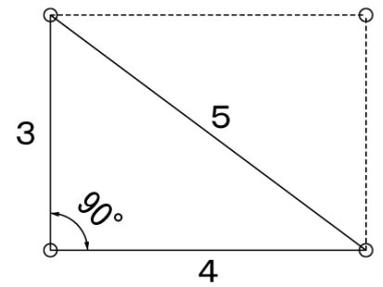


まずは小さな堰をつくり、次回活動まで水の溜まり具合を見ることとしました。作業場所までは高低差が大きいので、この水をどのように運ぶかがこれからの課題です。

小屋の墨出し

「墨出し」とは、建物などを建てる際に基準線や位置を出す作業で、大工さんが墨つぼを用いて墨で表示したことから「墨出し」と言われています。今回は四角い小屋の四隅の柱の位置を出すため、簡易的に直角を出す方法で墨出しを行いました。

巻尺などで3:4:5の比率で三角形をつくと直角三角形ができます。この直角三角形を基準に計画している寸法で柱位置を決めるときれいな四角形的小屋を建てることができます。



写真左中央に直角を出します



反対側にも直角を出します



四隅に目印を立て墨出し終了



目印の位置に柱を立てます

手摺、階段&小屋づくり

セカンドデッキの作業ができなかったため、手摺、階段の仕上げ作業を行いました。手を加えるたびにこだわりが増し、良いものになっていきます。



墨出しをして立てた柱に、梁、桁、束、棟木を取付け、1日で小屋の骨格が完成です。この小屋は、間口3m、奥行き2mで切妻屋根の小屋になります。

炊きたてご飯

羽釜を使ってご飯を炊きました。おこげも程良く、好評でした。豚汁と炊きたてご飯で大満足の昼食となりました。



初夏の草花

初夏の里山では、小さく目立たない花ですが、春とは趣の異なる草花が咲いています。



オオバジャノヒゲ



ハエドクソウ



アオヤギソウ